



No. 1 4 / 4 8

有脇小学校校長だより

2020・11・18



# ふだん暮らしのしあわせ



10月30日に「福祉実践教室」がひらかれました。3年生から6年生が参加しました。有脇小学校では、3年生「肢体不自由・車いす体験」4年生「視覚障がい・ガイドヘルプ体験」5年生「視覚障がい・手話体験」6年生「視覚障がい・点字体験」を行います。4年ですべての体験をすることができるように計画されています。また、1・2年生は、先輩が体験してい

るところを見学しました。

この取り組みを通して、わたしたちの周りには、障害のある方や高齢の方など、さまざまな人が暮らしていることに気づき、すべての人の「ふくし」について考えるきっかけにすることを目的としています。障がいのある方の生活について話を聞いたり支援を体験したりすることで、ただ「大変だろうな」とか「不自由だろうな」だけではなく、ともに幸せに生きるために大切なことはどんなことだろうかを考える機会にしたいと思います。



## 子どもたちの命を守ってくれて

学校が再開された頃、校内の消毒作業は教員が行っていましたが、消毒ボランティアを募集したところ、14人のボランティアさんが集まってくださいました。現PTA、卒業生の保護者、地域にお住まいの方々でした。本当に助かりました。9月からは、半田市が消毒作業をしてくれる業者を雇い入れて（雇い入れ期間は3月まで）くれて、少し余裕ができました。また、コロナウィルスについて少しずつ分かってきたことや、国から「1日に1回消毒すればよい」という指針が出されたことで、10月下旬の作業をもって、消毒ボランティアをいったん休止としました。約3か月の間、子どもたちの命を守ってくださって、本当にありがとうございました。